

## 1 ベントナイト

### 2 純度試験(1)の項を次のように改める。

#### 3 純度試験

4 (1) 鉛 本品0.10 gをビーカーにとり、薄めた塩酸(1→4)  
5 20 mLを加え、時計皿で覆い、時々振り混ぜながら穏やかに  
6 15分間煮沸する。冷後、遠心分離して得た上澄液をろ過し、  
7 残留物を熱湯5 mLで洗い、洗液をろ液に合わせる。冷後、  
8 クエン酸水素二アンモニウム溶液(1→2) 10 mL及びチモール  
9 ブルー試液1 mLを加え、液の黄色が淡黄緑色に変わるまで  
10 アンモニア水(28)を加える。この液を分液漏斗に移し、更に  
11 水で洗い込み、洗液を合わせる。ピロリジンジチオカルバミ  
12 ン酸アンモニウム溶液(3→100) 5 mLを加えて5分間放置し、  
13 酢酸ブチル10 mLを正確に加えて5分間振り混ぜた後、必要  
14 ならば遠心分離し、上層を試料溶液とする。別に原子吸光度  
15 用鉛標準液4 mLを正確に量り、クエン酸水素二アンモニ  
16 ウム溶液(1→2) 10 mL及びチモールブルー試液1 mLを加え、  
17 以下試料溶液と同様に操作して標準溶液とする。試料溶液及  
18 び標準溶液につき、次の条件で原子吸光度法 (2.23) によ  
19 り試験を行うとき、試料溶液の吸光度は標準溶液の吸光度よ  
20 り大きくない(40 ppm以下)。

21 使用ガス：

22 可燃性ガス アセチレン

23 支燃性ガス 空気

24 ランプ：鉛中空陰極ランプ

25 波長：283.3 nm

26 -----

### 27 9.22 標準液の項に次を追加する。

28 鉛標準液、原子吸光度用 鉛標準原液1 mLを正確に量り、  
29 水を加えて正確に100 mLとする。用時製する。この液1 mL  
30 は鉛(Pb) 1 µgを含む。

31

32

33